

論文内容の要旨

報告番号	空欄	氏名	廣瀬 友亮
Protective effects of cold ringer's solution perfusion in abdominal aortic surgery requiring renal artery clamp (和訳) 腎動脈遮断を要する腹部大動脈手術に対する冷却リンゲル液による腎灌流の治療効果			

論文内容の要旨

傍腎動脈腹部大動脈瘤は、腎動脈上遮断が必要で腎動脈下腹部大動脈瘤と比較しリスクが高い。我々は、冷却リンゲル液灌流による腎保護を行っている。その手術成績および腎保護効果について検討した。対象は2008年1月から2018年12月腹部大動脈瘤の診断で、290例に対してopen aortic repairを施行した。緊急、透析、感染性動脈瘤、仮性動脈瘤は除外した。腎動脈下遮断の症例(I群)は231例、腎動脈上遮断、腎灌流を要した症例(J群)は59例であった。2群間で年齢、性差、最大瘤径、併存疾患、術前腎機能に有意差は認めなかった。また、術中出血量、手術時間、ICU滞在日数、術後入院日数、術後AKI、30日死亡、入院死亡は2群間で有意差は認めなかった。また、腎動脈遮断時間が45分以上必要な症例でもAKI発症は少なく(13%)良好な腎保護効果を認めた。冷却リンゲル液灌流による腎保護効果は有効で、我々の手術成績は良好であった。